

ナブコ自動ドア

手指用緩衝材付ロスカドア

JIS A 4722:2022 対応

新発売

自動ドアの安全規格 JIS A 4722:2022「歩行者用自動ドアセットー安全性」に対応し、子どもの利用が多い建物でも安心してご利用いただける、「手指用緩衝材付ロスカドア」を新たに発売しました。

スリムな縦フレームが好評のロスカドアに追加！

ロスカドアⅡ型：基本タイプ



ロスカドアⅢ型：トップフレームレス仕様



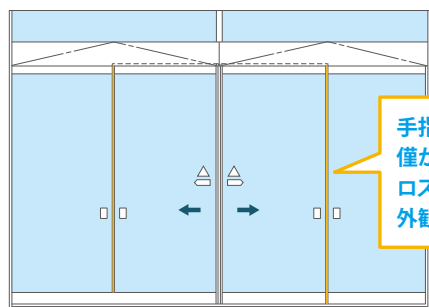
ロスカFIX



イメージ

スリムな意匠を実現した手指用緩衝材付！

姿図(Ⅱ型引き分けの場合)



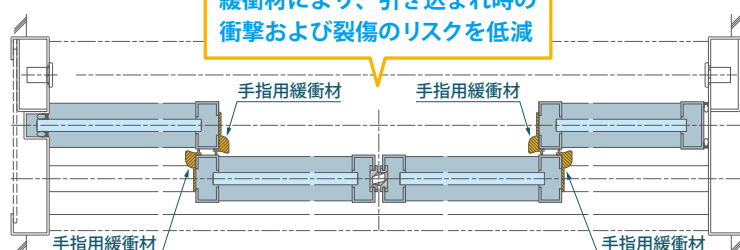
手指緩衝材は
僅か6.5mm幅で
ロスカドアのスリムな
外観を維持

緩衝材

緩衝材により、
万が一の
引き込まれ時にも
指を保護！



緩衝材により、引き込まれ時の
衝撃および裂傷のリスクを低減



引き込まれ時の衝撃や
裂傷のリスクを可能な限
り低減させる形状や材質
を検証し製品化しました。
(意匠・特許出願中)

JIS A 4722 改正(2022年9月)について

2022年9月自動ドアの安全規格「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット-安全性」が改正されました。今回の改正事項の中には、2021年6月に消費者安全調査委員会より公表された「消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書 | 自動ドアによる事故」を反映した事項も含まれます。

子どもの「引き込まれ事故の事例」

調査報告書では、自動ドアの「引き込まれる」事故は、**82%が9歳以下の子どもによる事故**であることが指摘されました。

子どもが開くドアに手を触れてしまったり、子どもがドア近辺にいることに気づかず解錠操作をしてしまったりすることで事故が発生しています。



子どもの指の引き込まれに対する保護(JIS 追加事項)

「子どもに対する配慮が必要な場合は、これまでのJIS規格で示された本質的安全設計方針に加えて、又は、代えて、安全防护及び／又は付加保護方を適用することが望ましい。構造的な付加保護方を用いる場合は、**危険箇所に手指用緩衝材を具備することが望ましい**」と規定されました。

(「JIS A 4722:2022」より翻案)

【引き込まれる事故の例】

「引き込まれる」事故の82%が9歳以下の子ども



【手指用緩衝材を具備する引き戸セットの例】

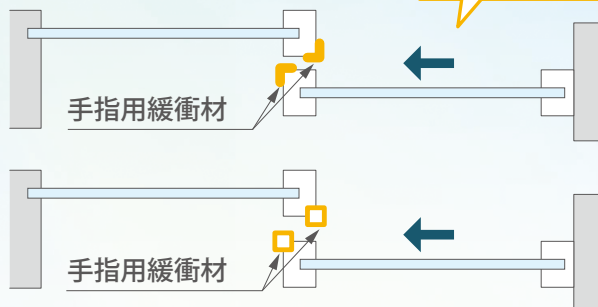
危険箇所に手指用緩衝材を!

L字形

手指用緩衝材

四角形(中空)

手指用緩衝材



(「JIS A 4722:2022」図 V.1 をもとに作成)

自動ドアを安全にご使用いただくために -自動ドアの安全規格に対応-

2017年3月、自動ドア全般にわたる安全規格「JIS A 4722 (歩行者用自動ドアセット-安全性)」が制定されました。NABCOグループでは、お客様に自動ドアを安全・安心・快適にご利用いただくため、JISに対応する自動ドア製品、および安全対策をご提案しています。

詳細はこちら



● JIS A 4722に関するご質問やご相談または対応商品をご検討の方は、NABCOの正規販売会社までお問い合わせください。

nabco.nabtesco.com/lp/jisa4722/

Nabtesco

ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー

〒102-0093
東京都千代田区平河町
2丁目7番9号 (JA共済ビル)
TEL (03) 5213-1156



ISO 9001・ISO 14001 認証取得

<https://nabco.nabtesco.com/>



お求め・お問い合わせは NABCO の正規販売会社へご連絡ください。

● 弊社製品は、改良などのためカタログと相違する場合がございます。
また、掲載製品は予告なく販売を終了することがありますので予めご了承ください。